

「タイ総選挙とアプリを利用した言語学習」

辻本 浩一郎

<タイ総選挙>

75%超と過去最高の投票率を記録し、大きな注目を集めたタイ下院総選挙。タイでは2019年以来4年ぶりに下院総選挙が5月に実施され、下院の500議席中、野党の前進党が151議席を獲得し、第1党になりました。また、最大野党であるタイ貢献党も141議席を獲得し、2014年から続くプラユット親軍政権に対する国民の不満が明らかになりました。

その後、前進党及び貢献党含む野党8党が312議席の連立を組み、前進党党首であるピタ氏を首相候補として擁立し、政権交代を目指す第1回首相選挙が7月に実施されました。首相に就任するためには、下院の500議席とプラユット親軍政権により任命された上院の250議席の合計の過半数376票を集める必要がありました。上院からの理解と支持を得ることが鍵でしたが、王室改革や徴兵制の廃止など急進的な改革を掲げるピタ氏に対して上院の拒否感は強く、残念ながら過半数に達せず、首相就任は実現しませんでした。

なおもピタ氏は首相就任を目指しましたが、選挙管理委員会からメディア株所持の選挙法違反の疑いで提訴され、結果的に憲法裁判所から議員資格の停止処分を受けました。そうして前進党とピタ党首の下院第1党からの首相就任は頓挫しました。

その後、下院第2党の貢献党は前進党との野党連立を解消し、親軍与党と与野党連立を組むことで上院からの得票を促し、貢献党のセーター氏が8月の第2回首相選挙でタイの新首相に選出されました。

2000年代以降のタイ政治は、農村・低所得者層を支持基盤とするタクシン派と、保守層・都市部の中・上層階級を支持基盤とする反タクシン派との間で、主に所得層による社会を分断する対立が特徴的でした。選挙が行われるたびに、タクシン派は勝利を収め、その後軍事クーデターが発生し、憲法の廃止と新たな憲法の制定が繰り返されてきました。

前進党は、このような不安定なタイ政治の根本的な仕組みの改革を目指し、その姿勢は変革を求めるタイの若者から強い支持を受けました。今回の選挙では、タクシン派の貢献党が結果的に勝利を収めましたが、これまで対立していた保守・親軍政党と協力姿勢をとったことで今後のタイ社会に新たな変化と混乱をもたらす可能性があります。

<アプリを利用した言語学習>

タイ駐在員や出張・旅行でタイにお越しの方が苦労されるものの一つが、摩訶不思議な「タイ語」で

す。旅行や海外での仕事において、言語の壁は不安の一因となります。しかし、言語学習には時間や費用などのハードルが付いて回ります。そういったハードルを解消してくれるのが言語交換アプリです。言語交換とはお互いの母国語を教え合いながら学習をすることを指します。アプリを使用することで現地の人々と気軽にコミュニケーションがとれます。先述した選挙など深いトピックについても現地の人の考えを直接聞くことが可能です。日本からの旅行者も増えていますが、現地の人とタイ語でコミュニケーションができれば、思い出もさらに深まるでしょう。

アプリの特徴として以下の点が挙げられます。

アクセスの利便性と柔軟性: 従来の学習方法では、学校に通ったり、特定の場所に移動したりする必要がありました。アプリを使用することで、場所を選ばず、通勤時間や待ち時間を有効に活用できます。

リアルタイムなコミュニケーション: 教科書学習では実際の会話の練習が限られていますが、アプリではネイティブスピーカーとリアルタイムでコミュニケーションが取れます。日本語上級者も多くいるので自由な話題で話すことが可能です。

費用対効果: 従来の学習方法には授業料や教材費がかかりますが、言語交換アプリは多くの基本機能が無料で提供され、費用対効果が高いです。

言語交換アプリを活用すれば、言語学習のハードルが低くなり、日常生活でのコミュニケーションや異文化への理解が高まります。少しずつ学びながら、新しい言語

を楽しむことができる素晴らしい手段です。おすすめの言語交換アプリとして、以下の二つがあります。ぜひアプリストアなどで検索してみてください。

- ハロートーク (Hello Talk)
- タンデム (Tandem)



【実際の投稿とネイティブによる添削画面】